

100万人の市民現場見学会
「石井ダム見学ウォーク」

一般公募による参加者570人が、
緑とダム建設現場を体験



■100万人の市民現場見学会について

社団法人日本土木工業協会は、建設産業の社会的使命である「豊かで安全に安心」して暮らすために、社会資本の整備は不可欠であるという認識に立ち、広報活動を開いてきました。

今後とも、当協会ではこうした国土づくりのるべき姿を創出する主要な一翼を担う者として、活動を活発に行ない、皆様と共に考えていきたいと思います。

このたび、これらの施策として、全国の土木建設現場を、

広く一般市民の方々に公開し、ご覧いただくという主旨をもって「100万人の市民現場見学会」を開催することになりました。一人でも多くの方々に社会資本とはいかなるものか、なぜそれが必要なのか、さらには次代へと繋ぐ我が国の確固たる基盤づくり、その重要性を訴求していきたいと思います。

また自然との深い係わりを理解し肌で感じていただける体験の場とし、これを継続的に展開してまいります。



100万人の
市民現場見学会

参加者で大いに賑わう土工協ブースと併設のイベント風景

石井ダム建設現場



土工協ブースでは、写真展示「近代日本の土木遺産」を開催

今回の見学会は、兵庫県県民局が主催する「石井ダム見学ウォーク」と当協会関西支部「100万人の市民現場見学会」実行委員会の共催です。

このイベントは、ひょうご森と湖に親しむ旬間(7月21~31日)の行事の一環として7月21日に行われたもの。日常では目に触れる機会が少ない治水ダム建設現場を見学することで、ダムの重要性や治水事業への理解を深めてもらうのが目的です。一般公募で約1400人の希望者のなかから抽選で選ばれました。

当日の早朝は雨模様の天気でしたが、にわかに回復して570人の参加者があり、関心の高さがうかがえました。家族連れを中心に鳥原川の渓谷が有する豊かな自然や、クイズラリーを楽しみながら、現場までの片道1kmを散策。途中に設けられたメモリアルストーンのコーナーでは、このメッセージのなかに「神戸を水害から守って」「大変な仕事でご苦労さま」など様々な思いやねぎらいの言葉などを石に記す子供たちの姿が見られました。そして見学所では係員が同ダムの建設目的や工事状況について説明がありました。参加者たちはタワークレーンが動く様を間近に見ながら、工事現場の雄大さに驚いていました。

また、会場入口に併設された土工協展示ブースでは、「近代日本の土木遺産パネル」を展示。開場とともにひっきりなしの来場者で賑わいました。特に豊稔池ダムや琵琶湖疏水の水路閣などへの関心が高く、先人たちの偉大な足跡に興味深く見入っていました。

「100万人の市民現場見学会」実行委員会ではこの他

にも平成15年9月までに空港やトンネル、下水道工事などの現場見学会を実施したたくさんの市民の皆様や子供達に参加してもらいました。本年度中に、あと数件の現場見学会を予定しており、広く市民の皆様に参加を呼びかけています。また、今回の現場見学会においても、事故もなく無事に終了できましたことを報告いたします。

最後に、今回の現場見学会実施にあたって、たいへんお世話になった兵庫県県民局、西松・奥村・錢高・新井・寄神JVの皆様、そして他の現場見学会にご協力いただいた多くの方々に誌上よりお礼を申し上げます。

■「100万人の市民現場見学会」実施・計画状況(平成15年10月現在)

実施日	対象者	参加人数	事業者	工事現場
5月15日	大学生	30名	兵庫県	石井ダム
7月1日~4日	小学生	112名	大阪府	高麗島本と水幹線下水槽渠築造工事
7月3、4、8日	中学生	474名	大阪市	咲洲配水場建設工事
7月21日	小学生以上	570名	兵庫県	石井ダム
7月30、31日	専門学校生	40名	大阪府	若江立坑築造工事
8月1日	小学生	49名	京良生駒高速鉄道	京阪奈新線 北大和トンネル建設工事
8月18日	小学生	173名	京良生駒高速鉄道	京阪奈新線 東生駒トンネル建設工事
8月28日	小学生	55名	箕面市	箕面新都心バーミリオンアーバン工事
8月30日	一般市民	2950名	開空用地造成	開空二期空港島築造工事
9月19日	大学生	19名	兵庫県、神戸市	石井ダム、引ダム
10月3日	小学生	60名	開空用地造成	開空二期空港島築造工事
10月15日	専門学校生	15名	大阪府	大阪府茨木市地下駐車場築造工事
11月28日	高校生	130名	兵庫県	石井ダム、他
11月	小学生	86名	国土交通省	夢洲トンネル咲洲アプローチ部

●石井ダムは、新湊川水系治水安全度向上を図るために設置する重力式コンクリートダム、堤高66.2m、堤頂長155m、堤体積18万2000立方m、集水面積は6.9平方kmで総貯水容量は220万立方m。堤体コンクリート打設には平成14年8月に着手。見学会当日(7月21日)の進捗状況は10万9000立方mの打設が完了し、打設高さは30mに到達。コンクリート体積で60%、打設高さで45%となっています。